

8/4月

[プレコンサート]

14:15~14:30

※本公演と同じお席でお楽しみください。
※プレコンサート中の客席への入退場は自由です。

〈出演〉

フルート:中村淳二

ヴァイオリン:船木陽子

ヴィオラ:小島茂隆

〈曲目〉

ベートーヴェン:

セレナード 二長調 op. 25 から

[開演] 15:00

[終演予定] 17:00

出演

指揮: 松本宗利音

Shurihito Matsumoto, Conductor

ピアノ: 阪田知樹*

Tomoki Sakata, Piano

コンサートマスター: 郷古 廉

Sunao Goko, Concertmaster

曲目

チャイコフスキー: イタリア奇想曲 op. 45

〔15分〕

Tchaikovsky: Capriccio Italien, op. 45

1. アンダンテ・ウン・ポー・コルバート

2. アレグロ・モデラート

3. プレスト

4. アレグロ・モデラート

5. プレスト — ピウ・プレスト — プレスティッシモ

ガーシュウィン: ラプソディー・イン・ブルー*

〔16分〕

Gershwin: Rhapsody in Blue

— 休憩〔20分〕 —

メンデルスゾーン: 交響曲第3番 イ短調 op. 56

『スコットランド』

〔41分〕

Mendelssohn: Symphony No. 3 in a minor, op. 56, "Scottish"

第1楽章 アンダンテ・コン・モート — アレグロ・ウン・ポー・コ・アジタート

第2楽章 ヴィヴァーチェ・ノン・トロッポ

第3楽章 アダージョ

第4楽章 アレグロ・ヴィヴァーチッシモ

※演奏時間は目安です。 ※出演者・公演内容につきましては変更が生じる場合がございます。

皆様にコンサートをお楽しみいただくために、
ご協力をお願いいたします。

開演中は、携帯電話・スマートフォン・タブレット端末など音や光を発する電子機器の電源をお切りください。光を強く反射する物は鞆におしまってください。



時計のアラーム・時報などは設定の解除をお願いいたします。



ハウリングの発生を防ぐために、補聴器などが正しく装着されていることをご確認ください。



演奏中の入退場はご遠慮ください。全席指定の公演です。ご自分の席でお聴きください。



許可のない写真撮影・録音・録画は固くお断りいたします(カーテンコール時を除く)。



演奏中に音が出ないように十分ご注意ください(鈴のついたお手荷物・鉛の包みを開ける際の音・プログラムをめくる音など)。



演奏中の会話はお控えください。



演奏が終わったとき、音が消えゆく余韻を十分に味わってから拍手・ブラボーなどの声援をお送りください。



客席内での飲食はご遠慮ください。



館内では咳エチケット・適切な手指消毒を推奨しております。

終演後のカーテンコールの撮影が可能です。

撮影は自席にご着席のまま、周りのお客様へご配慮いただきますようお願いいたします。

※前半終了時、アンコール演奏中は撮影いただけません。 ※撮影前にフラッシュ設定が「オフ」になっているかご確認ください。 ※目線より高い位置での撮影や、スマートフォン・携帯電話以外のカメラでの撮影、自撮り棒の使用はご遠慮ください。 ※SNSなどに投稿する際は、ほかのお客様の映り込みにご注意ください。

主催:川崎市、ミュージザ川崎シンフォニーホール(川崎市文化財団グループ)

後援:川崎市教育委員会、公益社団法人 日本オーケストラ連盟、J-WAVE 81.3FM、TBSラジオ

助成:文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業)

独立行政法人日本芸術文化振興会



Colors, Future!

いろいろって、未来。

川崎市



音楽のまちかわさき



文化庁

「フェイクニュース」から生まれた傑作集 異国の旅の美しい思い出と、まさかの

イタリアを愛したメロディメーカーの「イタリア礼賛」

チャイコフスキー：イタリア奇想曲

多くの作曲家にとってイタリアは憧れの対象だったが、なかでもピョートル・イリイチ・チャイコフスキー（1840～1893）はことあるごとに同国を訪れ、イタリア滞在期間はのべ36カ月にも及んだ。滞在をきっかけに作られた作品も多く、その代表作が『イタリア奇想曲』である。1878年から80年にかけて複数回イタリア各地に滞在し、そこで耳にした民謡などをもとにして、ロシア帰国後の1880年夏に完成させた。

ローマの宿泊先で聞こえたという騎兵隊の信号ラッパによるファンファーレで堂々と開始。続いて暗鬱な表情の弦楽器の旋律が大きく歌われた後、イタリア民謡「美しい娘さん」による木管楽器の陽気なメロディで盛り上がり、軽快なリズムで駆け抜ける場面になる。先ほどの暗鬱な弦の旋律が調を変えて再現されて後半に入ると、そのままプレストまで速度が上がり、ナポリの激しい舞曲「タランテラ」が始まる。そして前半の「美しい娘さん」の壮大な頂点と、後半の「タランテラ」の疾走が交錯し、熱狂のうちに幕を閉じる。

サプライズが生んだ「クラシックとジャズの融合」の傑作

ガーシュウィン：ラプソディー・イン・ブルー

ジョージ・ガーシュウィン（1898～1937）の『ラプソディー・イン・ブルー』は20世紀アメリカを代表する作品のひとつだが、作曲の経緯も音楽史上に例を見ないものだった。

1924年1月3日、兄アイラと共にビリヤード場にいたガーシュウィンは、新聞で「ポール・ホワイトマン楽団が、ガーシュウィン氏の新作ピアノ協奏曲を初演する」という記事を見つけた。当の本人は寝耳に水の話で、ホワイトマンに抗議しても「記事になってしまったから作る必要がある」と言われるばかり。結局作らざるを得なくなり、わずか2週間で書き上げた。ホワイトマンはジャズ・バンドのリーダーで、プロデュースの面でも活躍したが、確信犯的な「フェイク記事」で作らせた曲が歴史的傑作になるとまでは予見できなかったのでは。

本作はピアノ・ソロとオーケストラによるピアノ協奏曲の形態をとる。ソロパートはガーシュウィン自身がソリストも務めたが、オーケストレーションは当時この楽団でピアニスト兼編曲家を務めていたファーディ・グローフェ（『グランド・キャニオン』『ミシシッピ組曲』などの作曲者）が担当。最初はジャズ・バンド用、後年にはオーケストラ用に編曲し、後者をもとにした版が一般的に演奏されている。

クラリネットの印象的なグリッサンドで開始し、ピアノがジャジーな妙技とセンスを披露しながら、気の利いたメロディと印象的なシーンが連続していく。クラシックとジャズが高次元に融合した逸品、肩の力を抜いて楽しみたい。

儂き名旋律で「古のスコットランド」に思いを馳せる

メンデルスゾーン：交響曲第3番『スコットランド』

フェリックス・メンデルスゾーン（1809～1847）は20歳の時に長期間のスコッ

トランド旅行を敢行。首都エディンバラでは16世紀にメアリー・ステュアート女王が暮らしたホリールード宮殿を訪れ、宮殿近くの礼拝堂廃墟に佇み、浮かんできた旋律を書き留めた。この旋律から構想されたのが『スコットランド交響曲』だった。

しかし、その後多忙だったこともあって、本作の作曲は10年以上進められず、ついに完成したのは1842年に入ってから。そして同年3月にライプツィヒで初演後、5月にはロンドンを訪れ、バッキンガム宮殿にてヴィクトリア女王に謁見し、本作を献呈したのである。

全4楽章がアタックで繋がるように指示があり、哀感に満ちた序奏から凱歌のように盛り上がる結尾まで、大きく途切れることなく、ドラマと旋律美を味わえる構成になっている。また、30代に入ったメンデルスゾーンの書法はすでに円熟の域にあり、トロンボーンのないシンプルな2管編成（ホルンは4人）から、おどろくほど豊かで壮麗な響きを引き出している。

なお、本作は楽譜が出版された順番により「第3番」となっているが、実際は最後の5番目（作曲順は1、5、4、2、3）に完成された交響曲である。

第1楽章の序奏、ヴィオラと木管による哀しげなメロディこそが、20歳の作曲者が廃墟で書き留めた旋律。主部の第1主題も序奏主題に関連するもの。最後に序奏が再現されて静かに閉じられ、細かい動きが始まるころからがスケルツォ風の**第2楽章**で、クラリネットの民謡風のご機嫌な旋律が広がっていく。アダージョの**第3楽章**に入ってヴァイオリンが歌う、明るくも儂い旋律の美しさたるや。メンデルスゾーン一流の“爽やかなロマン”を堪能できる出色の楽章だ。フィナーレの**第4楽章**は、冒頭に決然と現れる四分音符の刻みと鋭い付点リズム主題が、全体を支配していく。終結部は一転して明朗な音楽に変わり、感動的な旋律が重なっていく。

阪田知樹からのメッセージ

豪華絢爛なオーケストラと華やかなピアノの共演をお楽しみください

私のベースはもちろんクラシック音楽ですが、ジャズも好きでよく聴いています。たとえばアート・テイタムやビル・エヴァンス、オスカー・ピーターソンといった人たちの録音です。初めて聴いたとき、クラシックのピアニストからは聴けないような音色があるんだと感銘を受けました。以来、今でもずっと興味を持って聴き続けています。

『ラプソディー・イン・ブルー』はガーシュウィンの代表作の一つですが、いわゆるクラシックの作品でありながら、ライト・ミュージック的な要素もあつたり、ラグタイム、いわゆる黎明期のジャズの要素もあつたり、クラシックという枠組を拡張した作品と言えます。グローフェによるオーケストレーションも豪華絢爛ですし、ガーシュウィン自身がピアノの名手だったこともあって、非常に華やかなピアノの技術も堪能できます。一度聴いたら忘れられないよう

な美しい旋律に満ちている楽曲です。

私は過去に2台ピアノや3台ピアノで演奏したことはありますし、楽曲自体にはもちろん馴染みはあるのですが、この曲を今回のようなオーケストラとのピアノ・コンチェルト版で弾くのは初めてなのでほんとうに楽しみです。ミュゼ川崎シンフォニーホールは響きが素晴らしいホールですし、松本宗利音さんとNHK交響楽団のみなさんとの共演ですから、これ以上ないサウンドの『ラプソディー・イン・ブルー』をお客さまに楽しんでいただきたいと思います。



©Ayuset

■出演者プロフィール



指揮：松本宗利音 Shurihito Matsumoto, Conductor

2025年4月に大阪フィルハーモニー交響楽団指揮者に就任。確かな構成力と瑞々しい感性から溢れ出る音楽で頭角を現している音楽界の未来を担う期待の新星。1993年大阪府豊中市出身。東京藝術大学指揮科卒業時に最優秀賞であるアカンサス賞を受賞。指揮を尾高忠明、藏野雅彦、高関健、田中良和各氏に師事。2019年4月から2022年3月まで札幌交響楽団指揮者として経験を積みながら、東京シティ・フィル定期演奏会、読売日響名曲シリーズ、大阪フィル定期演奏会をはじめ、山形響、仙台フィル、群馬響、東京響、新日本フィル、東京フィル、名古屋フィル、京都市響、関西フィル、大阪響、日本センチュリー響、九州響などと共演を重ねている。



ピアノ：阪田知樹 Tomoki Sakata, Piano

2016年フランス・リスト国際ピアノコンクール第1位、6つの特別賞。2021年エリザベート王妃国際音楽コンクール第4位入賞。2013年第14回ヴァン・クライバーン国際ピアノコンクールにて弱冠19歳で最年少入賞など国内外の受賞多数。国内はもとより、世界各地20カ国以上で演奏を重ねている。2015年CDデビュー、2020年3月、世界初録音を含む意欲的な編曲作品アルバムをリリース。阪田知樹ピアノ編曲集『ヴォカリーズ』『夢のあとに』、阪田の作曲した『アルト・サクソフォーンとピアノのためのソナチネ』を出版する他、メディア出演も多い。2017年横浜文化賞文化・芸術奨励賞、2023年第32回出光音楽賞、第72回神奈川文化賞未来賞、第20回ベストデビュタント賞を受賞。

■オーケストラ・プロフィール

NHK交響楽団 NHK Symphony Orchestra, Tokyo

NHKSO
NHK SYMPHONY ORCHESTRA
TOKYO

- 【創設】 1926年に新交響楽団として発足。日本交響楽団の名称を経て、戦後の1951年に日本放送協会の支援を受けることとなり、NHK交響楽団となる。
- 【指揮者】 ファビオ・ルイーゼ(首席指揮者)、シャルル・デュトワ(名誉音楽監督)、ヘルベルト・ブロムシュテット(桂冠名誉指揮者)、ウラディーミル・アシュケナージ(桂冠指揮者)、パーヴォ・ヤルヴィ(名誉指揮者)、尾高忠明、下野竜也(以上、正指揮者)
- 【ホーム・コンサート・ホール】 NHKホール、サントリーホール
- 【楽団ウェブサイト】 <https://www.nhkso.or.jp/>

サマーミュージア特設サイト

- アンコール曲 ●ほぼ日刊サマーミュージア
 - パートナーショップ特典
- こちらからご覧ください。
<https://www.kawasaki-sym-hall.jp/festa/> →



アンケート ご協力をお願いします。

ほぼ日刊サマーミュージアに感想が載るかも?
<https://gws-net.com/summermuza2025/> →



浴衣 de SUMMER MUZA!

浴衣でご来場の方へ特製ステッカーを差し上げます。
開場・休憩・終演時に、ホール1階「主催者受付」へお立ち寄りください。

ミュージア川崎シンフォニーホール ホールスポンサー

【特別賛助会員】 法人 川崎幸病院 川崎信用金庫 キャノン株式会社 サントリーホールディングス株式会社 ジェフト株式会社 三井不動産グループ	【賛助会員】 税理士法人あおぞら会計 株式会社イープラス ENEOS株式会社 有限会社エムシーエス・デザインズ 神奈川臨海鉄道株式会社 川崎アゼリア株式会社 公益社団法人川崎市医師会 川崎市信用保証協会	公益社団法人川崎市病院協会 一般社団法人川崎市薬剤師会 川崎鶴見臨港バス株式会社 川崎日航ホテル かわさきファーズ株式会社 川崎臨港倉庫埠頭株式会社 ケイジーケイ株式会社 公益財団法人JFE21世紀財団 株式会社シグマコミュニケーションズ	セレサ川崎農業協同組合 大本山川崎大師平間寺 高橋昌也税理士・FP事務所 株式会社デイ・シー 東亜石油株式会社 株式会社東芝 日本冶金工業株式会社 川崎製造所 ぴあ株式会社 ホテルメトロポリタン 川崎	ヤマハサウンドシステム株式会社 株式会社ワイヤーソリューションズ * 大宮町内会 他3法人 【わくわくミュージア法人サポーター】 稲毛神社 おつけもの慶					
個人 阿部孝夫 新井智彦 市橋信一郎 井上敏昭 宇佐美清一	遠藤智和 大越麻美子 大須賀徳也 大塚具幸 岡垣克則	小笠原 将 岡田 元 岡野 功 小倉ヒロ・ミハエル 小野洋彰	金山直樹 喜多紘一 木伏源太 久住映子 小菅みつほ	国府保周 後藤 実 小林知子 佐伯 昇 佐藤晴茂	佐藤義寛 新保和浩 杉山弘子 鈴木甚郎 鈴木 徹	高井延幸 高橋美子 竹内啓介 都築 豊 中村紀美子	西 洋子 西山英昭 長谷川喜代江 林 直人 廣瀬治昇	藤嶋とみ子 堀江智巳 前田 泉 松嶋邦生 山内利夫	山下啓史 山田昌克 D.Y K.O M.C N.A T.Y 他匿名16名 敬称略五十音順

ミュージア川崎シンフォニーホールの公演事業は、ホールスポンサーの皆様によって支えられています。